

平成23年度一般会計予算・討論

反対討論

日本共産党吉川市議員団

佐藤 清治

平成23年度一般会計当初予算は総額204億8千万円と前年度に比べて20.4%の大幅な伸びとなっています。事業の大幅増に対し地方交付税の予算化が少なく（仮称）美南小学校建設費に対する国の負担金の割合が低すぎ改善を強く申し入れるべきです。

日本共産党市議団がおこ

なった市民アンケートでは53%の方が生活が苦しくなったと回答しています。こうした時こそ市には行き届いた福祉の施策が求められています。

そして住宅リフォーム助成制度創設など予算編成にあたって提出した「重点6項目」の早急な実施を求めます。

美南駅へのアクセスに必要なバス路線の問題は未解決のままとなっています。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団

山崎 勝他

平成23年度吉川市一般会計予算は、総額204億8千万円、前年度比20.4%増、額にして34億7千500万円の増となっています。歳入は、市税が対前年度比で約600万円の増額、地方交付税が前年度比4億2千万円の増、一方で財政調整基金から7億4千400万円を繰り入れ、歳入歳出の均衡を図つ

ています。歳出は、吉川駅南地区の児童の増に対応、23年度から2カ年度に渡る新設小学校建設が着手されます。旭小学校、関小学校体育館の耐震補強、大規模改修工事、北谷小学校体育館耐震診断の実施、関学童保育室の新設、中曽根学童保育室拡張等行われ、子ども医療費の通院分が中学3年生まで拡大されました。更に住みよい街づくり市政運営に取り組み頂きますようお願いいたします。

賛成討論

公明党吉川市議団

小野 潔

平成23年度一般会計予算は、204億8千万円と初めて200億円を超える規模となっており厳しい財政状況の中、創意工夫がなされた予算であります。注目すべき点は子宮頸がん、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの無料実施を予算措置したこと、AEDの無料貸し出し制度の実施、子ども医療費の通院

分を中学3年生まで拡大したこと、施設などで行ったボランティア活動にポイントを付与する「介護支援ボランティア制度」の創設、消費者相談を週3日から週4日に拡充したこと、新設小学校（仮称）美南小の建設にあたり太陽光発電の設置、屋上の緑化とエコスクールを指し、複合施設とすることなど、随所に公明党の主張を取り入れて頂いた予算編成であると高く評価致します。

賛成討論

市民改革クラブ

伊藤 正勝

平成23年度の一般会計予算は20.4%の伸び、初めて200億円を越えた。特別会計を合わせると300億円の規模。周辺自治体と比較しても突出した伸びで意欲的。吉川新駅開業や駅南に新設の小学校、「子ども手当」など大型の事業や施策に対応するため、必要な財源の確保にも意を用いている。「市

長選」の空白も感じさせない内容と言える。東日本大震災は被害・影響の拡散が予想される。予備費1500万円の活用とともに必要な場合は速やかに補正予算を組むこと。新駅についてはアクセススルートの整備など今後の補正予算措置を含め、迅速、適切に取り組むことを求め賛成討論としたい。予算には市の業務の全てが盛り込まれる。分かり易い説明、予算関係資料の内容充実をさらに進めてほしい。